

2018年度（平成30年度）日本学生支援機構 大学院奨学金

「特に優れた業績による返還免除」 ＜採用時 収還免除内定候補者＞募集要項

この制度は、2018年度、大学院 博士課程・後期課程の1年次に入学、または一貫制博士課程3年次に進級・編入した者で、大学院 第一種 奨学金の貸与を受けている学生が対象となり、在学中に十分な業績を挙げる見込みのある者として日本学生支援機構（以下、「機構」）が認定した場合に、奨学金の全部または一部の返還免除が内定されるものです。

研究科	出願場所・問い合わせ先
法学研究科 社会学研究科 文学研究科 国際関係研究科 先端総合学術研究科	衣笠学生オフィス（研心館2階） 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学 衣笠学生オフィス 大学院奨学金係 TEL：075-465-8168（直通） Fax：075-465-8169
経済学研究科 スポーツ健康科学研究科 理工学研究科・情報理工学研究科 生命科学研究科・薬学研究科	BKC学生オフィス（セントラルアーク1階） 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学 BKC学生オフィス 大学院奨学金係 TEL：077-561-2854（直通） Fax：077-561-3954
政策科学研究科 経営学研究科・人間科学研究科 テクノロジー・マネジメント研究科	OIC学生オフィス（A棟1階 AS事務室内） 〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150 立命館大学 OIC学生オフィス 大学院奨学金係 TEL：072-665-2135（直通） Fax：072-665-2139
出願期間	<p>2019年1月15日（火）～1月31日（木） 土日を除く 9:30～11:30、12:30～17:00</p> <p>（注）原則、窓口提出。留学中や遠方の方で来校困難な場合は、必ず事前に学生オフィスまでご相談ください。</p> <p>※毎週火曜日のみ、12:30～17:00（9:30～11:30は閉室しています）</p>

※ 出願期間を過ぎてからの出願は一切受け付けません。

※ 期間内に一部提出できない書類がある場合は、必ず上記《問い合わせ先》へあらかじめご相談ください。

I. 制度概要

(1) 内容

2018年度、大学院 博士課程・後期課程の1年次に入学、または一貫制博士課程3年次に進級・編入した者で、大学院第一種 奨学金の貸与を受けている学生が対象となり、在学中に十分な業績を挙げる見込みのある者として機構が認定した場合に、奨学金の全部または一部の返還免除が内定されるものです。

(2) 内定候補者数

3名 (本学の後期課程相当 全体での候補者数)

(3) 返還免除額

免除額については、貸与終了時に、再度、研究業績を大学に提出し審査を受けた後に、全額もしくは半額免除が決定します。

(内定後、貸与修了年の2月頃に「特に優れた業績による返還免除」への出願が必要となります。)

【参考】2017年度の免除者数内訳

博士課程 6名 (うち全額免除 2名、半額免除 4名)

※以上の数値に、今回の内定候補者数が上乗せされるイメージとなります (あくまでも想定値です)

II. 出願資格

2018年度、博士課程・後期課程の1年次に入学、または一貫制博士課程3年次に進級・編入した者で、大学院第一種奨学金の貸与を受けている者

III. 収還免除の内定候補者の選考・決定

(1) 収還免除者の最終決定

本制度に出願した者の中から、大学が選考を行い「収還免除 内定候補者」として機構へ推薦します。大学からの推薦者について、機構にて最終的な認定（決定）が行われます。また、免除額の[全額/半額]については、貸与修了年に、再度、研究業績を大学に提出・審査を行った上で、機構にて決定されます。

(2) 大学から機構への推薦者決定（学内選考方法）

大学から機構への推薦者は、出願者が所属する各研究科委員会での選考を経たのち、学内選考委員会において決定します。

＜学内選考方法＞

書類選考（一次選考）および面接選考（二次選考※）により決定

※面接選考（二次選考）について

二次選考（面接）は2月下旬～3月上旬に実施予定です。対象者には、**2月中旬までに**詳細を個別通知（電話またはメール）します。面接にあたり、別途書面の提出を求めることがあります。

IV. 【重要】内定取消について

- 1 貸与期間中に、懲戒などで奨学金の停止・廃止の決定を受けた場合、内定が取り消されます。
- 2 修業年限内（3年。薬学研究科は4年）で学位取得（論文等の審査合格）できなかった場合、内定が取り消されます。その場合は、従来の返還免除制度（貸与終了時の出願・審査）に出願できます。
- 3 内定者が、学術振興会 特別研究員採用などで修業年限に満たない期間で貸与が終了となった場合は、内定者として、貸与終了年度で免除額の審査を行います（内定の取消とはなりません）。

V. 申請書類

以下の申請書類を期日までに不備なく提出してください。※ 一旦提出していただいた申請書類は返却しません。

提出が必要な申請書類	
①	出願票
②	博士課程進学に伴う採用時返還免除内定候補者に係る申請書（様式 2）※押印が必要です
③	成績証明書（修士課程）※原本を提出
④	業績申請書（様式 A）※必要に応じて業績の証明書表紙（様式 B）を使用のこと

① 出願票

提出用・本人控とも必要事項を記入してください。提出書類はチェックをして、提出漏れのないようにしてください。

② 博士課程進学に伴う採用時返還免除内定候補者に係る申請書（様式 2）

卷末の「記入例」を参考してください。

○ 全体の注意点

・「氏名」と「フリガナ」は**必ず自署してください。押印は本人印でスタンプ印は不可です。**

・黒のボールペンで丁寧に記入すること（消せるボールペンでの記入は不可です）。申請書は、全て手書きのこと。

本学奨学金 HP にエクセルフォーマットを置いていますので、ご使用ください。

本学 HP トップ→在学生の方→学生生活・就職→奨学金制度→経済支援型奨学金

→日本学生支援機構奨学金→3.定期採用＜大学院生＞→返還免除

※インターネットで「返還免除」を検索すると年度の古い申請書が出てくる可能性がありますのでご注意ください。

③ 成績証明書

修士課程での成績証明書の原本を提出してください。

④ 業績申請書（様式 A【両面】）

○ 全体の注意点 ②の注意点を参照。

○ 「博士課程における研究課題等」「修士課程における研究課題」（様式 A【表】）

博士課程の研究テーマ、修士課程（薬学研究科の場合は学士課程）の研究テーマを書き、その概要を記入してください。

○ 業績の要旨（様式 A【裏】）

業績について＜記入例＞を参考に箇条書きで記入ください。（必ず「様式 A」の注意事項を確認してください。）

＜業績の証明書表紙＞（様式 B）

特に優れた業績の要旨（様式 A【裏】）に記載した業績全てに対し、それを証明する資料の提出が必要です。

証明する各資料の一番上に、「業績の証明資料（表紙）※学位論文以外」（様式 B）を**それぞれ**添付してください。表紙に記載する No.は特に優れた業績の要旨（様式 A【裏】）の番号に必ず対応させてください。

VI. 選考結果の通知

【大学による】返還免除 内定候補者 結果(採否)通知（大学が内定候補者として機構へ推薦する段階の通知）

通知発送日：2019年3月下旬に発送予定

通知方法：申請者全員。大学に登録された本人住所宛に、書面（郵送）にて通知します。

【機構による】返還免除者 決定通知（免除額 決定通知）

通知時期：2019年6月中旬以降

通知方法：申請者全員。大学に登録された本人住所宛に、書面（郵送）にて通知します。

以上

【記入例】全て手書きで記入のこと

(様式2)

平成30年度 博士課程進学に伴う採用時返還免除内定候補者に係る申請書

平成 31 年 1 月 ○ 日

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

本申請書記載事項に相違ありません。

博士課程進学に伴い、返還免除の内定候補者として申請します。

なお、当該課程において返還免除の内定を受けた後、奨学金の貸与開始後、貸与期間が終了する年度に返還免除候補者としての推薦を受けるまでの期間中に、貴機構が定める「停止」又は「廃止」に該当するとき、修業年限内で課程を修了できなくなったとき、又は、貸与期間終了時における業績優秀者返還免除の申請をしなかったときは、返還免除の内定が取り消されることに同意します。

フリガナ
氏名

リツメイ タロウ
立命 太郎



大学院名	立命館大学 大学院			
研究科名・専攻名	○○研究科			
課程 (注1)	<input checked="" type="checkbox"/>	博士・博士後期課程	<input type="checkbox"/>	博士・医・歯・薬・獣医学課程
	<input type="checkbox"/>	一貫制博士課程 (後期課程相当 進級)		
入学年月 (注2)	平成 30 年 4 月		学籍番号	1234567890-1
奨学生番号	6 1 8 0 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○	生年月日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日

【記入上の注意】

- 「課程」欄は、該当する□にチェック（レ点）してください。
- 一貫制博士課程の後期課程相当年次に進級の場合、「入学年」欄には、後期課程相当年次に進級した年月を記載してください。
- 記入方法は全て手書きとし、氏名欄には必ず押印してください。

平成 30 年度 (2018 年度)
「特に優れた業績による返還免除【採用時 返還免除内定候補者】」
業績申請書

研究科名		
学生証番号		氏名

修士課程（薬学研究科の場合は学士課程）における研究課題等

テーマ	
概要	

博士課程における研究課題等

テーマ	
-----	--

＜業績の要旨＞論文発表、学会発表、受賞歴など

※学士課程・修士課程での業績も含む

＜記入上の注意＞箇条書きで記入のこと

- ①記載する業績は、必ずエビデンスとなる資料が必要（様式Bの注意事項参照）。
 - ②論文の掲載は「査読の有無」、国際会議や国内学会・シンポジウム等は「口頭・ポスターの別および査読の有無」を必ず記載のこと。
 - ③著書、著作物がある方は、単著/共著、タイトル、出版年、出版社などの情報を記載。
 - ④全ての業績を必ず枠内に収るように記載のこと。（行間やフォントサイズを工夫のこと）

＜記入例＞

- 1 学位論文（課題研究論文、リサーチペーパー等）のタイトル
 - 2 学術論文（学外または学内）
発表論文名、学術誌論文（Vol○、No○、頁数○—○、DOI、発行年月日）著者、査読有 等
 - 3 研究論文を国内学会・研究会で発表
発表論文名、学会・研究会名称（開催日時、開催場所）、発表者、頁数等
 - 4 学会賞・専攻分野における表彰等
賞名称、学会・研究会名称（開催日時、開催場所）等
 - 5 著書、データベースその他の著作物
『 . . . ○○○ 』 2017年、.

日本学生支援機構奨学金

「特に優れた業績による返還免除【採用時返還免除内定候補者】」

業績の証明資料（表紙）

学生証番号	（記入欄13列）	一
(ふりがな) 氏名	（記入欄）	

資料 NO ※様式 A 裏面「業績の要旨」の番号に対応のこと	証明資料の内容（学会名・学術誌名等）
番号	（記入欄）

専攻分野に関連しないものを業績として申請することはできません

＜作成上の注意＞

1) いづれの業績についても、以下を遵守してください。

・ホッチキス留めはせず、すぐに外せるよう業績ごとにクリップ留めすること。

・本人氏名部分に蛍光ペンを引くこと

・業績を証明する資料それぞれの一番上に、表紙として本紙をつけること。

・資料 NO は申請書（様式 A）の「業績申請書の業績の要旨（裏面）」で記載した業績内容に付した番号に対応した番号を記入すること。

2) 必要となる証明資料の例は以下のとおりです。

＜公刊学術論文、著作物の場合＞

申請者自身の名前が記載された目次頁および論文の冒頭頁（タイトル、要約が掲載されている部分）のコピー。※論文全ページを添付する必要はありません。

＜学会発表の場合＞

発表内容・発表日時・発表場所が分かる資料（プログラムや発表資料の抜粋、ポスター等）のコピー。

※発表資料の全資料を添付する必要はありません。

＜表彰などの場合＞

その事実が確認できる資料のコピー。

＜発明、特許などの場合＞

発明、特許等との本人との関係が証明されている（特許の申請または取得が分かる）資料のコピー。

※申請中などで秘密保持が必要な場合は事務局に相談してください。

提出用

2018 年度

本人控

2018 年度

日本学生支援機構大学院奨学金
「特に優れた業績による返還免除」<採用時 返還免除内定候補者>
出願票

学生証番号											—	
課程・研究科	博士・博士後期・一貫制(後期相当)						研究科					
(ふりがな) 氏名												
連絡先 (携帯電話)												

日本学生支援機構大学院奨学金 「特に優れた業績による返還免除」<採用時返還免除内定候補者> 出願票

学生証番号										—	
課程・研究科	博士・博士後期・一貫制(後期相当)					研究科					
(ふりがな) 氏名											
連絡先 (携帯電話)											

指導教員氏名 (フルネーム)	教授・准教授
-------------------	--------

指導教員氏名 (フルネーム)	教授・准教授
-------------------	--------

NO	提出書類	チェック	備考
①	出願票（本紙）		
②	博士課程進学に伴う採用時返還免除内定候補者に係る 申請書（様式2）		
③	成績証明書（修士課程のもの）※原本を提出		
④	業績申請書（様式A・B）		

NO	提出書類	チェック	備考
①	出願票（本紙）		
②	博士課程進学に伴う採用時返還免除内定候補者に係る申請書（様式2）		
③	成績証明書（修士課程のもの）※原本を提出		
④	業績申請書（様式A・B）		

受付
番号

受付印

受付印